

「懇親の場として、若い人も増え、仲良く活動している」という。

二村さんは、最近の日本の情勢などに触れながら、会長としての三年間を振り返って「昨年は活動らしいことはできなかった」と遺憾の意を表明。「北岡さんが会長を引き受けてくれたので、よろしくお願ひします」と、新会長に今後の運営を託した。

北岡さんは、具体的な活動については今後の検討に待つとしながらも、会の活発化に向け、いろいろな催しを開催したいとの意向を示した。

新年会では早速、世界的に活躍する邦楽の専門家で、岐阜県出身の吉沢政和さんが、映画「メモリー・オブ・ゲイシャ」で採用された音楽を、さまざまな和楽器を使って演奏。映画の裏話なども交えながら、集まった約二十人の会員らと楽しいひとときを過ごした。

また、カリフォルニア州シリコンバレーにある岐阜県事務所が三月に閉鎖されることになったため、これまで県人会事務局として会の活動に協力していた県事務所駐在員主査の小木曾弘和さんが日本に帰国することに。昨年の会計報告を行った後、「岐阜県に用がある時にはぜひ声を掛けて」とあいさつすると、会員らから「ご苦労さんでした」という声が一斉に上がった。

新役員として、副会長に奥田貞沖さん、会計に田口トリーシーさんが選出された。

(長島、写真も)

新年会を初めて開催

岐阜県人会 新会長に北岡さん



新年会開催を祝って乾杯する二村前会長（中央）と北岡新会長（左）ら

ト。二村真次さんを会長として運営を進めてきたが、今年役員を改選、新会長にJ A T Vの北岡和義さんが就任した。新年会は、新生岐阜県人会としては初めて。

もともとの岐阜県人会は一九一五年の設立。新年会やビクニックなどを定期的に開いたり、バスツアーや子供たちを対象とした日本体験ツアーを実施するなどしてきたが、

会員の高齢化に伴い活動が減速。一方、岐阜県クラブは一九九〇年代初頭に発足し、駐在員や新渡来者らを中心に、講演会やコンサートを開くなどしてきた。両グループが合併したのは二〇〇二年の十二月。ホテルニューオータニで開いた合同総会で決定し、その後、夏の親睦会と忘年会で親睦を深めてきた。合併後の

会運営は良好で、会員らは

南加岐阜県人会は一月二十四日、ホテルニューオータニで二〇〇六年の新年会を開催した。これまで毎年クリスマス前の時期に忘年会を開いていたが、昨年は忘年会を開催しなかった。新年会を開催した。同県人会は二〇〇二年、それまで別々の団体として活動していた岐阜県人会と岐阜県クラブが合併し、新生「岐阜県人会」として再スタート